

～2011 年度第 2 回研究会 プログラムのご案内～

教育システム情報学会（研究会委員会）

担当：小松川 浩，野崎浩成，布施 泉，不破 泰

【テーマ】ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/index.html>

【日 時】2011 年 7 月 9 日（土） 9:10～17:40 （懇親会 18:30～）

【会 場】千歳科学技術大学 本部棟 B102 教室 （〒066-8655 北海道千歳市美々758 番地 65）

<http://www.chitose.ac.jp/>

【参加費】無料（資料代：1,000 円）

懇親会参加：4,000 円（懇親会会場：「大地の恵み」<http://www.ryus-dining.com/>）

【参加申し込み】

以下の事項を電子メールにて、jsise2011sg2@ec.hokudai.ac.jp宛てにお送りください。

当日の受付も可能ですが、昼食・懇親会の手配の関係で、人数確認が必要となっております。

可能な限り、事前のお申し込みをお願いいたします。

==== ここから ====

JSiSE 2011 年度第 2 回研究会に参加します

1. 氏名
2. 所属
3. 電子メールアドレス
4. 昼食 要・不要（一方を残して下さい） ※学食の準備のために必要です
5. 懇親会に 参加する ・ 参加しない（一方を残して下さい）

==== ここまで ====

【シャトルバスのご案内】

研究会に合わせ、千歳科学技術大学と南千歳駅間を往復する臨時シャトルバスを用意いたしております。

次の時刻表をご覧の上、ご参加くださいますようお願いいたします。

千歳科学技術大学 臨時シャトルバス時刻表

教育システム情報学会研究会 平成 23 年 7 月 9 日(土)

往 路

南千歳駅発	本部棟着	備考
8:15	8:23	
8:32	8:40	
8:54	9:02	
10:25	10:33	
12:05	12:13	
12:52	13:00	
14:40	14:48	

復 路

本部棟発	南千歳駅着	備考
11:20	11:28	
13:03	13:11	
13:30	13:38	
16:00	16:08	
17:55	18:03	
18:15	18:23	※「大地の恵み」前まで

※可能であれば、最終便は ANA クラウンプラザ ホテル横にある「大地の恵み」前まで送迎。



■□■□プログラム□■□■ 発表時間：25分（発表17分，質疑8分）

受付 8:30-
開会挨拶 9:10-9:15

【セッション1】 9:15-11:00

- 1) 情報倫理マンガ教材のモバイルコンテンツ化
○布施泉（北海道大学）・三谷正信（千歳科学技術大学）・孫亜男・岡部成玄（北海道大学）
 - 2) スマートフォン携帯端末を活用した俳句創作支援環境の構築
高田伸彦（金沢学院大学）・○鈴木雅実（KDDI 研究所）・柳澤良一・春名亮・吉田誠一（金沢学院大学）
 - 3) 電子教科書からスタートするコンテンツ縮小加工による学習スタイルの提案
○芝治也・松崎沙羅（高知高等専門学校）・澤匡祐（大塚化学）・宮本大輔（吉野工業所）
松内尚久・西内悠祐・山口巧（高知高等専門学校）・妻鳥貴彦（高知工科大学）
 - 4) キャリア力養成を目的とした e-Portfolio の設計
○小林政尚（拓殖大学）
- ※4) は、震災の影響で、JSiSE2010 年度第 6 回研究会で発表できなかった講演の代替のご発表となります。

（休憩 10 分）

【セッション2】 11:10-12:30

- 5) 小学生を対象としたキーボード文字入力指導の試み ―ホームポジションの意識化―
堂込勇貴・○野崎浩成（愛知教育大学）・田中佳子（日本工業大学）・江島徹郎・梅田恭子（愛知教育大学）
- 6) 社会人基礎力育成グランプリを活用した初年次教育における論理的思考力とプレゼンテーション能力修得の試み
○菅原良（北海道文教大学）・佐藤喜一（新潟大学）
- 7) 文章力養成のための日本語 e ラーニングの研究
○吉岡侑相・岡部将希（千歳科学技術大学）・松浦年男・中嶋輝明（北星学園大学）・小松川浩（千歳科学技術大学）

（昼休み 12:30-13:30）

【セッション3】 13:30-15:40

- 8) 学習者の状況・嗜好に応じた教材配信機能を有する体験連動型マルチリンガル外国語 e-Learning システム
○加寄 長門・倉林 修一・清木 康（慶應義塾大学）
- 9) 自律学習支援のための教材推薦機能に関する研究
○長谷川 理・山川 広人・小松川 浩（千歳科学技術大学）
- 10) 掲示板とメールによる社会人遠隔学習者に対する指導法の分析
○山本 樹・不破 泰（信州大学）
- 11) 学生メンタルサポートシステム～”アンビエントキャンパス”の構築に向けて～
○時田 真美乃（日本電気株式会社）・不破 泰（信州大学）
- 12) 学生が運営する ICT 利活用支援活動における情報共有方法の検討
○齊藤洋樹・堀川千絵・松本涼子・皆川雅章（札幌学院大学）

（休憩 10 分）

【セッション4】 15:50-17:40

- 1 3) 社会人対象の e-Learning を用いた人材育成プロジェクトにおける学習者サポートとその効果について
 ○澤野いつみ (特定非営利活動法人グループ HIYOKO)・太田幸一(塩尻市振興公社)・金子春雄(塩尻市)・藤井正美・柳澤佳子・真田千砂・丸山佳代子 (特定非営利活動法人グループ HIYOKO)・不破泰 (信州大学)
- 1 4) 4 大学連携と e ラーニングによる教員免許状更新講習の実施とその成果
 ○森 祥寛・佐藤正英 (金沢大学総合メディア基盤センター)
- 1 5) 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムにおける e ラーニングの試み
 ○渡辺宏二・門谷眞一郎・小川博 (東海大学)
- 1 6) TIES のムードル化プロジェクト
 ○中嶋航一 (帝塚山大学)・堀真寿美 (帝塚山大学 TIES 教材開発室)・佐藤伸平・林智 (金沢電子出版)

閉 会

【懇親会】

18 時 30 分より、千歳市内「大地の恵み」(<http://www.ryus-dining.com/>) で懇親会を開催します。奮ってご参加ください。

【問い合わせ先】

北海道大学 布施 泉
 E-mail : jsise2011sg2@ec.hokudai.ac.jp

■ □ ■ □ ■ □ ■ 2011 年度 研究会開催予定 ■ □ ■ □ ■ □ ■

日 時	テ ー マ / 会 場	担 当
第 2 回研究会 2011 年 7 月 9 日 (土)	テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般 会 場：千歳科学技術大学	不破, 小松川 野崎, 布施
第 3 回研究会 2011 年 9 月 3 日 (土)	テーマ：教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般 会 場：香川大学	林 , 伊東, 小西
第 4 回研究会 2011 年 11 月 12 日 (土)	テーマ：協調的学習とその支援技術／一般 会 場：名古屋大学	平嶋, 柏原, 小尻, 曾我
第 5 回研究会 2012 年 1 月 21 日 (土)	テーマ：ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境／一般 会 場：鹿児島大学	佐々木, 永森 三石
第 6 回研究会 2012 年 3 月 17 日 (土)	テーマ：情報教育と社会人基礎力／一般 会 場：摂南大学	松永, 西野, 西端

募集!!

**教育システム情報学会 (JSiSE)
2011 年度第 3 回研究会 研究発表募集**

教育システム情報学会

担当：林敏浩、小西達裕（研究会委員会）

【テーマ】 続・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/index.html>

【日 時】 2010 年 9 月 3 日（土）

【会 場】 香川大学工学部総合研究棟 6506 号室（〒761-0396 香川県高松市林町 2217-20）

http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/hayashi/

【趣旨】 本年度の JSiSE 第 3 回研究会は、「続・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般」です。近年、大学等高等教育機関、民間、自治体、企業などで種々の形態で連携した教育プロジェクトが多く推進されています。このような教育プロジェクトを含む連携型教育実践を支える教育システムに関して設計、構築、運用の観点から情報共有し、さらに、議論を深めるため、関連した幅広い分野からの発表を歓迎いたします。なお、本研究会は、第 36 回 JSiSE 全国大会企画セッション「続・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用」、昨年度の第 3 回研究会「教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用」と連動していますが、企画セッションや昨年度の研究会での発表の有無に関わらず、発表を募集しております。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮って、ご参加下さい。

【発表申込】 締切：7 月 4 日（月）

以下の事項を電子メールにてお送りください。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. キーワード（3～5 語程度）
4. 連絡先：氏名、電子メールアドレス、電話番号

【申込先】 香川大学 林敏浩

E-mail：hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp

※申込メールに関しては原則として 1 営業日以内で受理メールをお送りします。

受理メールが来ない場合は、確認のご連絡をいただけますようお願いいたします。

【発表原稿】 締切：7 月 25 日（月）

1. 原稿は A4 用紙で、2 枚以上 8 枚以下。できる限り「偶数枚」でお願いします。
2. 原稿は、学会誌巻末に掲載している学会誌原稿執筆要項に準拠してください。

<http://www.jsise.org/studygroupcommittee/format.html>

3. 原稿送付先：香川大学 林敏浩

E-mail：hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp

電子メールで原稿を送付して下さい。

Word または、PDF ファイル（フォント埋め込みされた PDF 形式）。

原稿の郵送を希望される場合は、別途、林までご連絡下さい。

【発表時間】 1 件あたり、発表 20 分、質疑 10 分（予定）

プログラムの都合上、発表時間が変更される場合もありますのでご了承下さい。

【懇親会】 研究会終了後、懇親会を開催する予定です。

【お問合せ先】 香川大学 林敏浩

E-mail：hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp

第36回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ：「情報技術で拓く未来への学び－先進性と実践性の両立に向けて－」
<http://www.lake.info.hiroshima-cu.ac.jp/jsise2011/>

- 開催日時： 2011年8月31日（水）、9月1日（木）、9月2日（金）
- 会 場： 広島市立大学 講義棟など
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
- 主 催： 教育システム情報学会 運 営：教育システム情報学会中国支部
- 大会日程

8月31日（水）		企業展示・書籍展示
9:00-12:00	ワークショップ・チュートリアル	
13:00-14:50	開催大学挨拶・基調講演・企業セッション	
15:00-18:00	一般講演	
18:00-	ウエルカムパーティ	
9月1日（木）		
9:00-12:00	一般講演	
12:10-15:10	理事会・総会・特別講演	
15:20-18:00	企画セッション・一般講演	
18:50-20:50	懇親会（広島市内：メルパルク HIROSHIMA）	
9月2日（金）		
9:00-12:00	一般講演	
13:00-14:00	招待講演	
14:10-17:00	公開フォーラム・クロージングセッション	

■ 大会参加申込

○事前参加申込締切 **2011年7月30日（土）**

大会 Web ページからお申込みいただけます。お早めにお申し込みください。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,000円（*1）	一般会員：8,000円（*1）
学生会員：3,000円（*1）（*2）	学生会員：4,000円（*1）（*2）
非会員（学生以外）：10,000円	非会員（学生以外）：11,000円
非会員（学 生）：5,000円（*2）	非会員（学 生）：6,000円（*2）
論文掲載費：1,000円（論文一編につき）	
(*1) 全国大会当日またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は会員料金でお申し込みいただけます。 (*2) 論文集はついていません。学生証の提示が必要です。 論文集は別途3,000円かかります。	
[懇親会費] 一般：6,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：7,000円 学生：4,000円

なお参加費等の支払いは、ニュースレターNo.171に添付の郵便振替用紙をご利用下さい。詳細は大会 Web ページをご覧ください。

■ プログラム

○基調講演（8月31日（水）13時15分～13時45分）

岡本敏雄氏（教育システム情報学会長、電気通信大学大学院情報システム学研究所・教授）
 「震災と教育の情報化 ～危機管理と教育サービスのあり方～」

- 特別講演（9月1日（木）14時10分～15時10分）
高橋浩太郎氏（文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 学務係長）
- 招待講演（9月2日（金）13時00分～14時00分）
青木信之氏（広島市立大学・副学長，国際学部教授）
「情報技術で拓く未来への学び（高等教育での実践）
～ eラーニングを利用した新しい英語教育への挑戦 ～」
- 公開フォーラム（9月2日（金）14時10分～16時30分）
 - (a) 「情報技術で拓く未来への学び—先進性と実践性の両立に向けて（初等中等教育での実践）」
オーガナイザ：平嶋宗（広島大学），前田香織（広島市立大学），松原行宏（広島市立大学）
 - (b) 「大規模災害発生に e-Learning は何が出来るか」
オーガナイザ：不破泰（信州大学），小松川浩（千歳科学技術大学）
- ワークショップ（8月31日（水）9時00分～12時00分）
現在，ワークショップ，チュートリアルテーマとそのオーガナイザを募集中です。
（締切：6月16日（木））．詳細は大会Webページをご覧ください．
- 企画セッション（9月1日（木）15時20分～18時00分）
 1. eラーニング環境のデザインと組織マネジメント
 2. 医療・看護・福祉分野における ICT 利用の現状と今後の展開
 3. ICT を活用した学習支援と教育の質保証
 4. 続・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用
 5. 協調的学習とその支援技術
 6. ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境
 7. 教育の情報化と情報教育
- ウェルカムパーティ（8月31日（水）18時00分～）
広島市立大学・学生会館にて開催
- 懇親会（9月1日（木）18時50分～20時50分）
メルパルク HIROSHIMA にて開催
〒730-0011 広島市中区基町 6-36 （広島バスセンターに隣接）

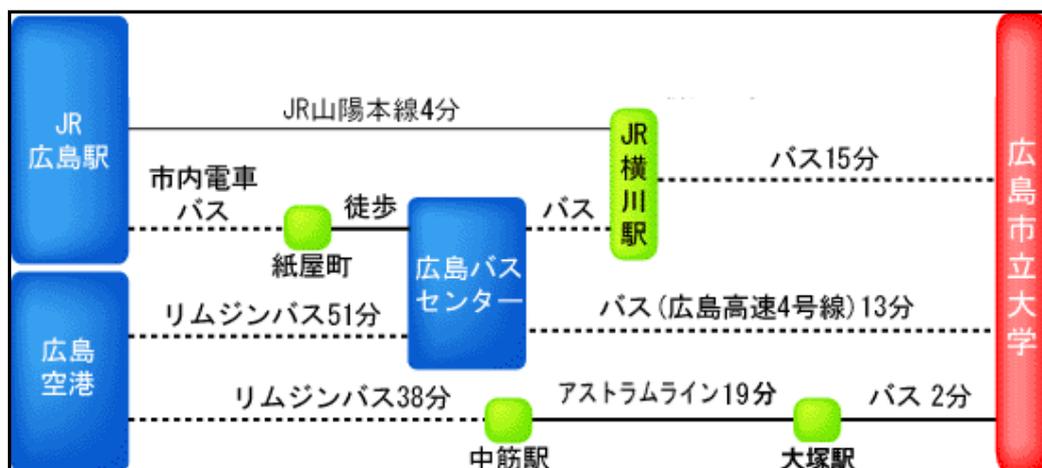
■ 企業展示・広告の募集

引き続き，企業展示・広告を募集いたします．メールにて大会事務局宛にお申し込みください．詳細は大会 Web ページをご覧ください．

■ 大会事務局

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
 広島市立大学 情報科学研究科 知能工学専攻 松原研究室内
 教育システム情報学会 第36回全国大会 事務局
 E-mail: jsise2011@lake.info.hiroshima-cu.ac.jp

■ 交通アクセス



国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報：2 件

☞ TESL2011:

First International Workshop on Technology-Enhanced Social Learning

- 開催期間：October 22, 2011
- 開催地：Dalian, China
- URL：<http://www.researchbible.org/>
- 論文投稿スケジュール：
Submission deadline：June 20, 2011

● CELDA 2011:

IADIS International Conference on Cognition and Exploratory Learning in Digital Age

- 開催期間：November 6 - 8, 2011
- 開催地：Rio de Janeiro, Brazil
- URL：<http://www.celda-conf.org/>
- 論文投稿スケジュール：
Submission Deadline：24 June 2011



=====

教育システム情報学会
2011年度第1回研究会実施報告

=====

担当：仲林 清，石打智美，松居辰則，北村士朗（研究会委員会）

第1回研究会は「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育／一般」のテーマで、5/27金～28土に、東京田町のキャンパスイノベーションセンターで実施しました。

発表件数は21件でした。大学や企業でのeラーニングの実践を中心に活発な議論が行われました。特に、今回は医療・看護・福祉分野からの積極的な研究発表があり、同分野でeラーニングが様々な形で導入・実践されている状況を知ることができました。また、特別講演を熊本大学の鈴木克明先生にお願いしました。

『解説「教育設計における3つの第一原理の誕生をめぐって」をめぐって：ライゲルースからの学びを中心に』というタイトルで、学会誌最新号に掲載された鈴木先生の解説論文の内容を基に、グリーンブックで著名なライゲルース教授との交流にまつわる貴重なお話をいただきました。

参加者は約70名、懇親会参加者は26名で、いずれも大学と企業の方がほぼ半々というバラエティーに富んだ集まりになりました。

- テーマ：eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／
医療・看護・福祉分野におけるICT利用教育／一般
- 開催日：2011年5月27日（金）10:00～18:40（19:00～懇親会）
5月28日（土）9:30～12:10
- 会場：キャンパスイノベーションセンター（東京都港区芝浦3-3-6）

5月27日（金） 会場：キャンパスイノベーションセンター5階509

【セッション1】10:00～12:05（5件）

1. アメリカ製デスク・トップ・スタジオ（CATV局用・WebTV局用）の
eラーニング・スタジオへの転用
大塚意生（日本メディア教育株式会社）
2. スライドとの同期による講義映像データベースの構築
○柳沼良知・鈴木一史・児玉晴男（放送大学）
3. VODのアノテーションを共有するシステムを用いた協調自律学習の効果
○松本 哲（神戸大学）・掘出雅人・西之園晴夫（特定非営利活動法人 学習開発研究所）
4. シミュレータ教材開発のためのモジュール化手法とライブラリ群
増田孝博（千葉工業大学大学院）・○須田宇宙（千葉工業大学）
5. 大規模プログラム演習における教育サポート環境ORCAの構築・実践
○増田孝博（千葉工業大学大学院）・須田宇宙（千葉工業大学）

【セッション2】13:00～14:15（3件）

6. 全国調査に基づいた『学生による授業評価』アンケートの質問項目に関する分析
○菅原 良，永原和夫，松岡審璽，池田官司（北海道文教大学）
7. 試験におけるICTの適切な活用方法について
劉 東岳（プロメトリック株式会社）
8. 技術イノベーションを主題とするビデオとアンケートシステムを活用した授業実践
仲林 清（千葉工業大学／熊本大学）

【セッション3】14:25～15:40（3件）

9. 文系学生に対するプログラミング教育へのMoodleの活用
五月女仁子（神奈川大学）
10. グループワークを支援するICTデザイン—eラーニングを利用したグループ発表評価実践報告—
○根本淳子・上田勇仁・上田公代（熊本大学大学院）
11. 問題解決能力を育成するための薬学型PBL支援システムの構築と学習効果
○大津史子・永松 正・灘井雅行・豊田行康・後藤伸之・平松正行・吉田 勉・小森由美子・
長谷川洋一・亀井浩行・野田幸裕・森 健（名城大学）

【セッション 4】 15:50~17:30 (4 件)

12. 看護技術実施時の手指動作再現による学習支援システム
○真嶋由貴恵 (大阪府立大学)・曾我真人 (和歌山大学)・前川泰子 (大阪府立大学)
13. ベッド-車椅子移乗介助動作学習システムの検討
○泉 正夫・松村麻記子・真嶋由貴恵・前川泰子 (大阪府立大学)
14. Web ビデオに付与する視覚的に提示可能な付加情報の優先順位と呈示手法の研究
○大倉孝昭 (大阪大谷大学/総合研究大学院大学)・
広瀬洋子・仁科エミ・近藤喜美夫・黒須正明 (放送大学)
15. Gifu medical Education/e-learning System の開発と実践
○丹羽雅之・鈴木康之 (岐阜大学)

特別講演

解説「教育設計における3つの第一原理の誕生をめぐって」をめぐって：ライゲルースからの学びを中心に
鈴木克明 (熊本大学大学院)

5月28日(土) 会場：キャンパスイノベーションセンター1階国際会議場

【セッション 5】 9:30~10:45 (3 件)

16. マルチモーダル環境における視覚情報の触知覚化の検討
○石川 桂多・林 大作 (千葉工業大学大学院)・遠西 学 (目白大学)・中村 直人 (千葉工業大学大学院)
17. eラーニングを活用した新卒看護師教育方法 - 中間看護管理者の人材育成の現状と課題 -
○伊津美孝子 (森ノ宮医療大学)・真嶋由貴恵・前川泰子 (大阪府立大学)・
寫田 聡 (NTT サイバーソリューション研究所)・田中典子 (大阪府済生会茨木病院)
18. シラバス連動による学部授業とeラーニングの有機的統合の試み
○柴田喜幸 (産業医科大学・熊本大学)・児玉裕美・佐藤亜紀 (産業医科大学)・
波田哲朗 (株式会社アクシス)・鷹居樹八子 (産業医科大学)・
鈴木克明 (熊本大学)・柴田弘子 (産業医科大学)

【セッション 6】 10:55~12:10 (3 件)

19. 看護過程での自己学習支援のためのeラーニング教材の開発と評価
○辻 慶子 (北海道文教大学)・小松川浩 (千歳科学技術大学)
20. eラーニングによる未就労看護師のための再就職支援研修システムの開発と評価
○中村裕美子・真嶋由貴恵・前川泰子・牧野裕子・星 和美・
細田泰子・中嶋有加里・平松瑞子 (大阪府立大学)
21. 看護スキルの自己学習支援システムの効果 ※
○前川泰子・真嶋由貴恵 (大阪府立大学)

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : http://maf.mycom.co.jp

■なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000円/年6回発行<送料込>

新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。(敬称略)

○新入会正会員・準会員

2011/4～2011/5

会員番号	名前	所属機関	所属部署	会員種別
JSiSE-A1103059	加藤利康	日本工業大学	情報工学科 石川孝研究室	準会員
JSiSE-A1103060	中原久志	兵庫教育大学大学院	連合学校教育学研究科	準会員
JSiSE-A1103061	秋山 實	東北大学大学院	教育情報学教育部	準会員
JSiSE-A1103062	木下淳博	東京医科歯科大学	図書館情報メディア機構	正会員
JSiSE-A1103063	須永昌代	東京医科歯科大学	図書館情報メディア機構	正会員
JSiSE-A1103064	増田孝博	千葉工業大学大学院	情報科学研究科	準会員
JSiSE-A1103065	海野歩未	下関短期大学	保育学科	正会員
JSiSE-A1103066	齋藤充生	帝京平成大学	薬学部薬学科	正会員
JSiSE-A1103067	杉江聡子	北海道大学大学院	国際広報メディア観光学院	準会員
JSiSE-A1103068	深水拓郎	熊本県立大学大学院	アドミニストレーション研究科	準会員
JSiSE-A1103069	増岡由貴	広島大学	財務・総務室 契約グループ	正会員
JSiSE-A1103070	大山 篤	東京医科歯科大学	歯科総合診療部	正会員
JSiSE-A1103071	稲葉竹俊	東京工科大学	メディア学部	正会員
JSiSE-A1103072	宮澤芳光	電気通信大学		準会員
JSiSE-A1103073	望月雅光	創価大学	経営学部	正会員
JSiSE-A1103074	椎名広光	岡山理科大学	総合情報学部 情報科学学科	正会員
JSiSE-A1103075	西村智治	香川大学大学院	工学研究科	準会員
JSiSE-A1103076	河鯉光起	香川大学大学院	工学研究科	準会員

★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2011年度の年会費の請求書は、4月中旬ごろ郵送いたしました。

また、2010年以前の会費の未納につきましては、本年度分と一緒に請求させて頂いておりますので、ご入金の方よろしくお願ひいたします。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が3年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願ひ致します。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。
ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

◎年会費のご案内◎

■銀行名 : ゆうちょ銀行
 ■支店名 : 019 店
 ■当座預金 : 0709632 ※電信振替 : 00180-6-709632
 ■口座名義 : 教育システム情報学会

■銀行名 : 池田泉州銀行
 ■支店名 : 上新庄支店 (222)
 ■普通預金 : 13440
 ■口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修

■正会員 : 7,000 円
 ■準会員 : 4,000 円
 ■企業・団体会員 : 50,000 円
 ■研究報告年間購読 : 4,000 円
 ■入会金 : 1,000 円 (初年度のみ)

「学会誌原稿執筆要領」の一部改定について

2011/6
学会誌編集委員会

今回、以下のように学会誌原稿執筆要領を改定することとなりましたのでお知らせします。

1) 主な改定内容

- 1-1) 論文種類ごとのページ数制限、および、著者紹介の扱いを明確化します。特に、ショートノート、実践速報については、ページ数制限を厳格化し、その制約の中で十分な記述量を確保するため、著者紹介を廃止します。
- 1-2) 別刷り代の一部改定を行います。

2) 具体的な改定内容

原稿執筆要領の改定箇所は以下の下線部の通りです。全文は学会ホームページおよび学会誌に掲載します。
(前略)

5. 執筆の要領

- 1. 原稿の構成は、次の順序とする。

原著論文、実践論文 表題、著者名、概要、本文、参考文献、(付録)

ショートノート、実践速報 表題、著者名、本文、参考文献、(付録)

なお、原著論文、実践論文については、これらの後に著者紹介(顔写真を含む)を掲載する。ショートノート、実践速報については著者紹介を掲載しない。

(中略)

- 9. 制限枚数：原稿はA4判の用紙を使用し、横 24 字、縦 41 行×2 段組みの書式で刷り上がりイメージにできるだけ近い状態で印刷して投稿のこと。図表は原稿の後にまとめて添付してもよい。刷り上がりページ数の標準ページ数は、図表を含めて以下のとおりとする(原著論文、実践論文については著者紹介も含む)。標準ページ数を超えると、別刷代が急速に高くなるので注意されたい。原著論文、実践論文として投稿する場合、ページ数が 12 ページ以上になる場合には、ページ数超過の理由書(形式は任意で構わない)を提出すること。理由書を基に編集委員会で審議した結果、投稿を認めない場合もある。ページ数超過の理由書がない場合は投稿を受付けないので注意されたい。また、ショートノート、実践速報の場合、7 ページ以上になる場合には採録されないで注意されたい。なお、ページ数を大幅に超過するからといって、1 編とすべき内容を複数編に分けて投稿することは認めない。

原著論文 8 ページ以内

実践論文 8 ページ以内

ショートノート 4 ページ以内。ただし、7 ページ以上のものは掲載しない。

実践速報 4 ページ以内。ただし、7 ページ以上のものは掲載しない。

解説 8 ページ以内

(中略)

7. 採録原稿について

(中略)

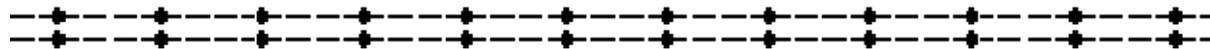
別刷については、著者校正の際、同封される申込書に希望部数を記入して申し込む。全ての採録原稿において、最低 100 部の別刷購入を義務とする。頁数と別刷数との価格表を下表に示す(下表以外の場合は、編集委員会で判断する)。

部数 ページ数	100 部	200 部	300 部
1~2	18,000 円	36,000 円	54,000 円
3~4	24,000 円	42,000 円	60,000 円
5~6	30,000 円	48,000 円	66,000 円
7~8	36,000 円	54,000 円	72,000 円
9~10	66,000 円	90,000 円	114,000 円
11~12	102,000 円	132,000 円	162,000 円
13~14	174,000 円	204,000 円	234,000 円

3) 改定実施日および適用対象論文

- 3-1) 新投稿規定の発効は 2011 年 9 月 1 日とし、Vol.29(1) (2011 年 1 月発行) 掲載論文から適用します。
- 3-2) 新投稿規定を適用により、Vol.29(1)から、ショートノート、実践速報については、著者紹介は廃止となります。これは現在投稿済みの論文にも適用されます。
- 3-3) 新しい別刷り料金は、新投稿規定発効以後に投稿された論文で、かつ、Vol.29(1)以降に掲載の論文に適用します。新投稿規定発効以前に投稿された論文、ないし、Vol.28(4)以前に掲載の論文は旧料金を適用します。

以上



教育システム情報学会会員各位

教育システム情報学会
会 長 岡本 敏雄
論文賞選定委員会
委員長 渡辺 成良

平成 23 年度学会論文賞候補の推薦のお願い

今年度の論文賞候補の推薦をお願いいたします。今回対象となる推薦候補論文は、**Vol. 26 No. 1 (2009 年) から、Vol. 27 No. 4 (2010 年) に掲載された 2 年間の論文【実践論文 (実践速報を含む)】**です。

なお、論文賞決定の手順ですが、まず、皆様からいただきましたご推薦に基づき、論文賞選定委員会において論文賞候補を選定させていただきます。この候補に対して、論文賞選定委員会において評価所見を作成し、無記名投票により論文賞推薦対象を選定いたします。

表彰は今年度の総会の席で行う予定にしております。

■推薦方法

Vol. 26 No. 1 (2009 年) から、Vol. 27 No. 4 (2010 年) に掲載された「実践論文 (実践速報を含む)」の中から推薦したいと思うもの一編を選び、次の様式に従ってメールでご投票ください。

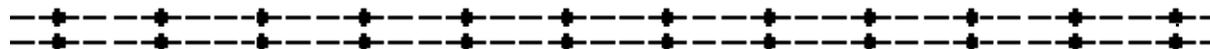
- 1) 巻 (Vol.), 号 (No.)
- 2) 論文名
- 3) 推薦理由
- 4) 推薦者名

■推薦締切

平成 23 年 6 月 20 日 (月)

■JSiSE 論文投票専用メールアドレス

「jsiseronun@osaka-ue.ac.jp」へご投票ください。



新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページに掲載しておりますので（PDFファイル）ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXか、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料**・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂くというキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川101

教育システム情報学会事務局 宛

TEL 06-6324-7767 FAX 06-6324-7767

E-mail: secretariat@jsise.org

http://www.jsise.org/

《他団体への後援・協賛のお知らせ》

協賛 日本感性工学会

「第13回日本感性工学会全国大会」

■日 時：2011年9月3日(土)～9月5日(月)

■会 場：工学院大学 新宿キャンパス

協賛 ヒューマンインタフェース学会

「ヒューマンインタフェースシンポジウム2011」

■日 時：2011年9月13日(火)～9月16日(金)

■会 場：仙台国際センター

後援 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会

「第11回日本情報オリンピック」後援

■日 時：2011年12月-予選 2012年2月-本選

■会 場：独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センターほか